

対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力

ヨヴォン行政郡中央病院医療機材整備計画

人口約183,000人を抱えるヨヴォン行政郡は、首都ドゥシャンベ市より南方57kmに位置します。ヨヴォン行政郡の大半は山岳地帯。住民の多くは、さくらんぼ、林檎、キャベツなどを生産し、生活の糧としています。

本計画では、同行政郡の中心的な公共総合医療機関としての機能を持つヨヴォン行政郡中央病院に医療機材9種を供与しました。機材は全て外科に整備されました。同科は、郡内随一の外科治療を受けられる場所として、行政郡一帯から年間約5,600人の患者が訪れます。しかし使用されていた医療機材はソ連時代からのものが多く、経年劣化も著しく機能や衛生面に問題がある状態でした。

本計画を通し、胃鏡、手術用酸素・麻酔吸入器、加熱滅菌機、大腸内視鏡、手術用医療ランプ、手術台などが新規に整備されたことで、同外科における医療サービスの質が大幅に向上し、多数の住民がより良い外科治療を受けられるようになりました。



整備された手術用医療ランプと手術台の確認を行う様子。



供与式では、ヨヴォン行政郡長より日本の支援に感謝が述べられました。



加熱滅菌機、手術用酸素・麻酔吸入器、手術用吸引装置、手術台の様子。供与された全ての機材にはODAステッカーが貼られ、日本からの支援であることが分かるようになっています。